

北陸を応援しよう！！  
太平洋から日本海へ 東京・軽井沢の視点から  
東京⇒敦賀まで総距離580キロ(最短3時間08分)を一つの経済圏として捉える

# 「北陸新幹線 美食観光経済圏の魅力」 ワイナリーツーリズムの可能性



2024年5月6日

## 開花亭sou-anにて開催

信州大学 先端領域研究群 特任教授

福井県立大学 客員教授

青山学院大学 コミュニティー人間科学部 客員教授

エステー株式会社 アドバイザー

鈴木幹一

北陸新幹線 2024年3月16日

# 福井まで延伸



【敦賀・新大阪間】  
未着工区間

【金沢・敦賀間】  
令和5年度末開業予定

東海道新幹線



**軽井沢は140年で大変化** 明治初期の軽井沢  
矢ヶ崎山から現在のプリンスショッピングプラザ、軽井沢駅、旧軽井沢別荘地越しに  
浅間山(右)と離山(左)を望む。明治初期の軽井沢は全く木々がなく荒地だった。

## 本日のアジェンダ

### (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした 北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

#### レインボールート

#### ①軽井沢の特殊性

北陸新幹線沿線に軽井沢があることが  
沿線を元気にする！！(異文化交流)

#### ②北陸新幹線沿線は日本で最大級の ワイナリー・ヴィンヤードの集積地

#### ③北陸新幹線沿線は日本で最大級の 温泉集積地 (ウエルネス環境)

#### ④妙高は第二のニセコに

#### ⑤静かで本物がある北陸(伝統工芸)

#### ⑥日本海の豊富な海の幸

#### ⑦立山連峰、白山連峰の水の恵み

### (2)観光目的が変わった

#### ①美食(ガストロノミー)

#### ②ウエルネス

### (3)東京や軽井沢から見る北陸の魅力 (コンセプトワード)

### (4)結論

# (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

## ①軽井沢の特殊性

・軽井沢サロン文化の歴史

(明治時代後期 旧三笠ホテル)

軽井沢の旧三笠ホテル(明治39年開業)は、桂太郎や西園寺公望、渋沢栄一、団琢磨(三井財閥統帥)、近衛文麿、徳川慶久、有島武郎、などといった明治・大正時代を築いた著名人が訪れていた「旧三笠ホテル」。

(大正・昭和時代 別荘)

別荘にゲストを招いて様々なディスカッションやディナーをするようになる。それが別荘文化のはじまりである。

(平成・令和時代 別荘 レストラン)

軽井沢には多くのレストランが出来き、人々がレストランで交流するようになる。ただ最近では、別荘の大型化に伴い、別荘内で各種パーティをする人が増えてきた。

軽井沢の多種多様な人々と北陸の人々がつながる  
2022年3月17日 福井県と軽井沢町が連携協定締結

## 新しい地方創生のモデル

### 新価値創造・イノベーションの誘発

旧三笠ホテルを開業したのは、福井県美浜出身の実業家の山本直良。

彼は初め岩倉家に仕え、後に実業家として十五銀行や日本郵船、明治製糖(DM三井製糖ホールディングス)の役員を務めた。

旧三笠ホテルでのディナー



別荘でのパーティ



現在の旧三笠ホテル

# (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

## ①軽井沢の特殊性

- 多種多様な人たちが狭いエリアに集結(4キロ四方)
- セレンディピティー  
シンクロニティー  
な出会いが多い
- オフのネットワークが充実  
年齢・肩書・職業・性差のない  
フラットな交流
- ソーシャル・キャピタルが充実  
各種勉強会・ボランティアの会  
趣味の会・別荘・移住者の会
- 東京から北陸新幹線で1時間、  
通勤定期利用者500人
- 人口21,000人、  
別荘16,500軒  
いずれも増加傾向



# (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

## ①軽井沢の特殊性

### (軽井沢の観光データ)

・軽井沢の観光客は圧倒的に夏が多い(半数)

年間約841万人(2019年)

(台湾・香港・韓国インバウンドが増加傾向、冬季はスキーヤー)

・アウトレットでショッピングするだけの日帰り客が圧倒的に多い  
(機会損失状態)



**軽井沢から  
北陸へ観光客を誘致することが重要**

一泊目 軽井沢

二泊目 北陸へ

東京の人が北陸を見ると遠いイメージが有る

軽井沢を通して北陸を見ると、  
距離感がぐっと縮まり、親しみが湧く

軽井沢プリンスホテル ザ・プリンス



旧軽井沢ホテル音羽ノ森



# (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

## ①軽井沢の特殊性

(軽井沢の観光データ)

軽井沢の宿泊部屋数

部屋数	12,816部屋
ホテル	10,318部屋
ペンション	1,164部屋
民宿	862部屋
旅館	472部屋

(参考)

石川県	27,769部屋
福井県	15,762部屋
富山県	14,959部屋

- ・上信越自動車道碓氷軽井沢インター 年間208万台
- ・北陸新幹線軽井沢駅乗降客 年間147万人



# (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

## ①軽井沢の特殊性

- ・リゾートテレワークが活発
- ・企業研修が多い(カーリング会場)  
(例⇒年間約250社・5000人が企業研修で訪れている)
- ・MICEが活発化(国内外)  
G7交通大臣会合、G20環境・エネルギー大臣会合、  
G7外務大臣会合、学会研究大会、政治家勉強会  
経済団体のトップマネジメント会合など  
⇒メイン会場(軽井沢)・分科会会場(北陸)
- ・標高1000メートル高原リゾート(ウエルネスリゾート)  
(7月・8月・9月の平均気温は19度)
- ・軽井沢の各ホテルではウエルネスプログラムを実施  
ヨガ・瞑想・ウォーキングなどが活発  
⇒軽井沢から北陸へのウエルネスツーリズム
- ・信濃毎日新聞の支局が有る(情報が多い)

信濃毎日新聞



軽井沢アイスアリーナでの企業研修風景



別荘でのリゾートテレワーク

# 補足資料1 軽井沢のホテル、観光協会、JTBへのヒアリング(2024年2月に実施)

現状・観光戦略・北陸誘客の課題・北陸新幹線福井延伸の期待など

## ①旧軽井沢ホテル音羽ノ森

- ・この冬は稼働率7割
- ・多くは台湾・香港・韓国などインバウンド(スキー)
- ・スキーをしないインバウンドは、冬の軽井沢の雪景色を見たいとのニーズが多い
- ・スキー滞在後、**すぐに東京に戻る人が多い**  
⇒**美食・ウエルネスなど、ロビーなどで軽井沢から北陸へのアピールすることが可能**

## ②軽井沢プリンスホテル

- ・この冬の稼働率は8割
- ・平日はほぼインバウンド、土日は日本人が多い(スキー)
- ・北陸新幹線が福井まで延伸することで、福井からはもちろん、**大阪方面からの誘客を期待。大阪・関西万博の帰りの誘客に期待**
- ・軽井沢をゲートウェイとして、北陸新幹線沿線の魅力をアピールして回遊させることで、沿線の魅力を高めていきたい。美食・スキー
- ・多様な顧客のニーズ、食文化に対応すべく準備している

## ③軽井沢観光協会

- ・軽井沢の観光客は圧倒的に日帰りが多い。軽井沢をゲートウェイとして北陸方面に回遊させたい
- ・北陸には軽井沢にはないものがたくさんある。ものづくり・歴史・新鮮な日本海の海の幸
- ・北陸新幹線福井延伸を機に、**北陸・関西方面から軽井沢への誘客を期待したい**
- ・観光だけではなく、文化・芸術・教育交流を深めていきたい
- ・異文化交流を進めていきたい(新価値創造)
- ・ウエディングの誘客を進めたい

# 補足資料2 JTBへのヒアリング「北陸に対する期待」(2024年2月に実施)

## 北陸の不変の人気テーマは「食」

- ・伝統とモダンが織りなす「食」「温泉」「自然」「まち歩き」
- ・芸術・歴史・文化が宿る本物志向な観光資源の開発・流通
- ・区間開業効果を背景とした新たな人流の創出
- ・観光地・地域の活性化に資するサステナブルな取り組みへの挑戦
- ・北陸新幹線金沢⇒敦賀開業による大都市圏だけでなく北陸三県がつながる好機を演出
- ・県名の併記により、直接的に消費者への認知・想起を促進

・どこでも・いつでも食べられるものでなく、こだわりが重要。「○○エリア」の「○○産」こだわった「○○料理人」による、「○○レストラン」の唯一無二の料理、「稀少部位・稀少ブランドの食材」などが人気。

- ・伝統文化・伝統工芸(本物)、食にまつわる体験、地域ならではのお酒
- ・ラグジュアリーな宿泊個所も重要(大型でなく小規模)



# 日本の旬 北陸 特集

# 補足資料3 別荘所有者は圧倒的に港区在住者が多い自動車の東京ナンバー地域

## 品川ナンバー

千代田区・中央区・港区・品川区・目黒区・大田区・渋谷区

## 世田谷ナンバー

世田谷区

## 杉並ナンバー

杉並区

## 練馬ナンバー

新宿区・文京区・豊島区・中野区・練馬区・北区

## 板橋ナンバー

板橋区

## 葛飾ナンバー

葛飾区

## 江東ナンバー

江東区

## 足立ナンバー

足立区・墨田区・荒川区・江戸川区

## 多摩ナンバー

立川市・武蔵野市・三鷹市・府中市・昭島市・調布市・小金井市・小平市・東村山市・国分寺市・国立市・  
狛江市・東大和市・清瀬市・東久留米市・武蔵村山市・多摩市・稲城市・西東京市

## 八王子ナンバー

八王子市・青梅市・日野市・福生市・羽村市・あきる野市・西多摩郡

(軽井沢のポイント)  
・軽井沢は別荘所有者(=富裕層・美食家)は圧倒的に港区在住が多い。  
・車のナンバー(東京ナンバーの比率)は、品川が6割と圧倒的に多く、世田谷2割・杉並1割・練馬1割が続く



# 補足資料4 圧倒的富裕層が多い港区

出典:2022年全国1741地方自治体別所得ランキング

富裕層の関心事は、「美食」と「ウエルネス」⇒北陸の主要コンテンツ

福井県は軽井沢町と連携協定を締結(2022年)、都心部の影響力のある人々と活発なコミュニケーションをしている

順位	市町村名	都道府県名	平均所得
1位	港区	東京都	1471万
2位	周防大島町	山口県	1176万
3位	千代田区	東京都	1076万
4位	渋谷区	東京都	1000万
5位	中央区	東京都	760万
6位	猿払村	北海道	731万
7位	芦屋市	兵庫県	697万
8位	目黒区	東京都	684万
9位	文京区	東京都	667万
10位	世田谷区	東京都	603万

総務省が2023年に発表した2022年度の住民税統計データより、シゴトリサーチ編集部が全国1,741市区町村の平均年収(所得)を算出

## 第1位は東京都港区(昨年同様)

多くの大手企業が本社を構えるほか、六本木、麻布、赤坂、青山、白金などの高級住宅街が立地しており10人に1人以上が社長と言われている区。

平均所得は1,471万円で**全国平均の約4倍**となっており、所得の伸び率も前年比約24%増と全国平均を大きく上回っている

## 麻布税務署管轄(軽井沢別荘所有者が最も多い)

赤坂1～9丁目、北青山1～3丁目、南青山1～7丁目、麻布十番1～4丁目、麻布台1～3丁目、麻布永坂町、西麻布1～4丁目、東麻布1～3丁目、麻布狸穴町、南麻布1～5丁目、元赤坂1・2丁目、元麻布1～3丁目、六本木1～7丁目

## 所得格差は、価値観、ライフスタイル、食文化などが大きく異なる

港区の場合、区民の平均所得は1471万だが、これはあくまで平均値であり、所得が1億を超える富裕層が圧倒的に多いという特徴がある。

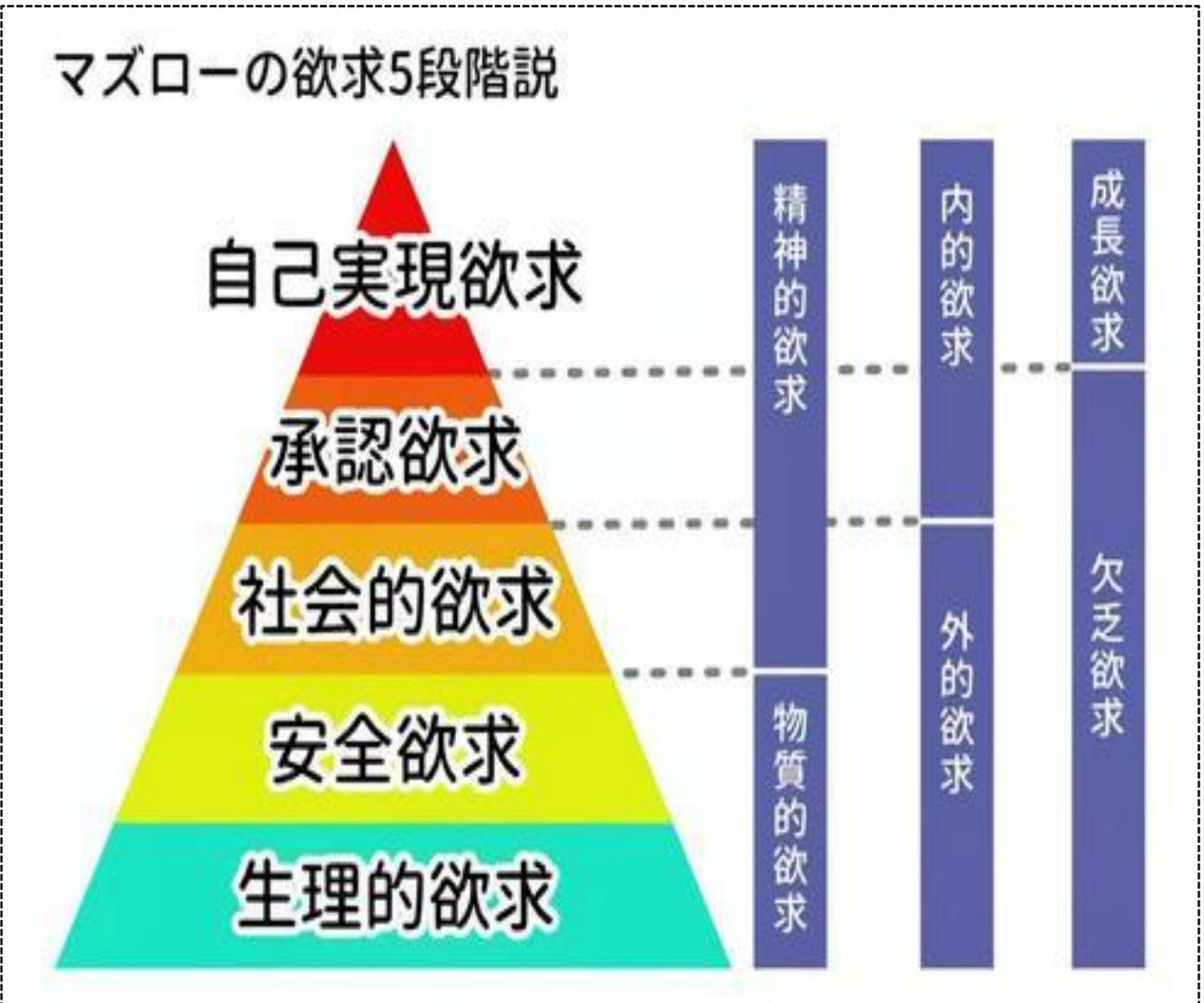
## 異文化交流⇒イノベーションの誘発

軽井沢の人と北陸の人々交流することにより、お互い異文化を学び刺激を受ける

全国平均	361万
福井県	
福井市	339万
石川県	
金沢市	353万
富山県	
富山市	336万
軽井沢町	486万

# 補足資料5 富裕層の関心事は、「美食」と「ウエルネス」

マズローの欲求5段階説に見る富裕層の行動様式



自己実現欲求の層とは  
(更に最上位は自己超越欲求)

- ・東京の富裕層
- ・軽井沢の別荘所有者

彼らの関心事とは

- ・ウエルネス
- ・美食
- ・社会貢献

東京の富裕層から見る北陸の魅力とは

- ・静かな贅沢  
クワイエット・ラグジュアリー
- ・美食  
日本海の豊富な海の幸(美食)
- ・ウエルネス  
永平寺に代表されるマインドフルネス

# (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

## ①(まとめ)軽井沢の特殊性

「多様な人々が交わっている軽井沢をゲートウェイとして、東京と北陸が交流することで素晴らしい化学反応を起こす」

**人と人との結びつきが地方を元気にする！！**

東京経済圏

### 北陸新幹線**美食**観光経済圏

軽井沢

人口:21,000人  
別荘:16,500軒  
観光客:850万人(年間)

観光客・地元の方々・移住者・  
別荘所有者・二拠点居住者・  
テレワーカー・ノマドワーカー・  
ビジネス・企業研修・MICE  
インターナショナルスクールの学生・  
外国人・スポーツ・芸術家

北陸3県

富山県

石川県

福井県

北陸新幹線沿線

# (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

②北陸新幹線沿線は日本で最大級のワイナリー・ヴィンヤードの集積地 (ワイン愛好家=シャンパン愛好家=美食家)  
新しいワインツーリズムの可能性 (ワイナリー見学+シャンパン・ワイン+美食)

・長野県 千曲川ワインバレー東地区 53か所以上が点在(ヴィンヤード含む)⇒増加傾向

ヴィラディストワイナリー・シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー・マンズワイン小諸ワイナリー・リュードヴァン・ドメーヌナカジマ他

千曲川ワインバレー北地区 15か所以上が点在(ヴィンヤード含む)⇒増加傾向

小布施ワイナリー、サンクゼールワイナリー、楠ワイナリー

小布施ワイナリー



軽井沢初のワイナリー  
2023年10月オープン  
軽井沢アンワイナリー



シャトーメルシャン  
梶子ワイナリー



サンクゼールワイナリー



リュードヴァン

# 北陸新幹線沿線はワイナリーの宝庫 多くのワイン愛好家(富裕層・美食家)が訪れている

- ・新潟県 岩の原葡萄園(上越妙高駅)※日本ワインの父川上善平氏創業
- ・富山県 トレボー・Domaine Beau・SAYS FARM他
- ・石川県 ハイディワイナリー・金沢ワイナリー・Vin de la bocchi
- ・福井県 白山ワイナリー、63 Estate Winery他

岩の原葡萄園



白山ワイナリー



Vin de la bocchi



金沢ワイナリー

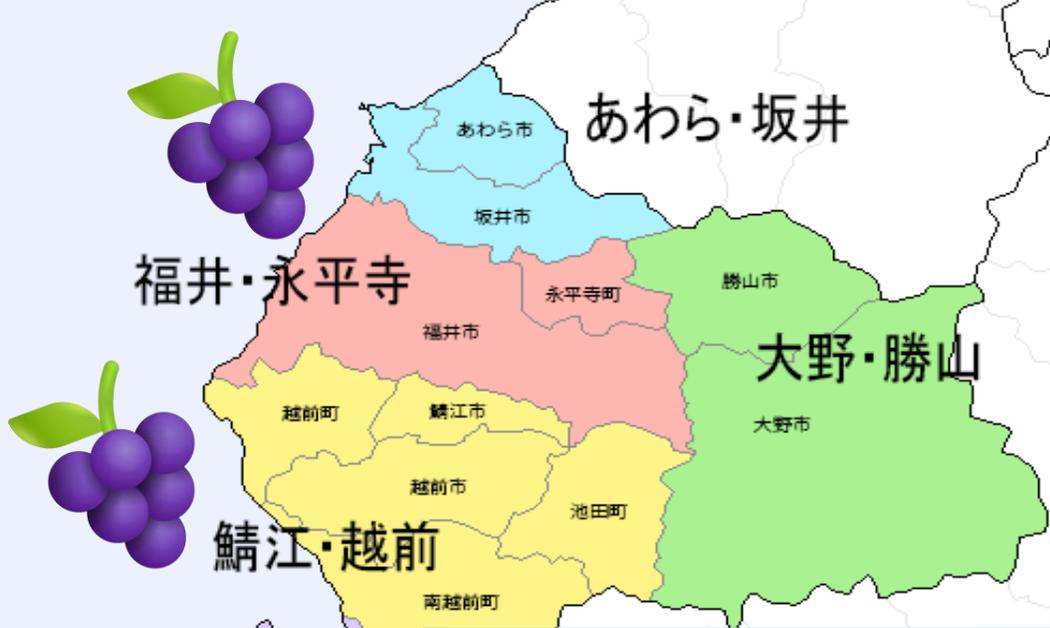


# 福井県のワイナリーの無限の可能性



# 越前海岸ワインコースト

## 恐竜 シャンパーニュ・白ワイン



## ポイント

- ①福井県は恐竜の化石出土日本一の県  
日本一大きい福井県立恐竜博物館がある
- ②恐竜は2億年以上前に生息(白亜紀・ジュラ紀)
- ③シャンパーニュ地方・シャブリ地区は  
2億年前は海底だった
- ④キンメリジャン土壌
- ⑤越前市に63エステートワイナリーが、オープン  
(ヨーロッパ品種)
- ⑥あわら市の丘陵地帯にボルドー大学出身の  
元アサヒビールの方が、ワイナリーを計画。  
瓶内二次発酵専門(スパークリングワイン)  
ブラン・ド・ブラン
- ⑦福井の日本海の高級な海の幸とのマリアージュ



## 補足資料 6 北陸新幹線沿線のワイン特区一覧

### (ワイン特区とは)

通常、果実酒等の製造免許取得にあたっては、最低製造数量基準として年間6キロリットルの製造が要件として設定。その基準を2キロリットルに引き下げ、小規模事業者の製造免許取得を可能にしたのが構造改革特別区域法(以下「特区」)による「酒税法の特例」。

### 長野県

個性の有るワイナリーの増加によりワイナリーツアーが急増  
移住者も増加

高山村 信州・高山ワイン特区

飯綱町 飯綱ワイン・シードル特区

野沢温泉村 野沢温泉ハウスワイン特区

上田市、小諸市、千曲市、東御市、立科町、

青木村、長和町、坂城町 千曲川ワインバレー(東地区)特区

軽井沢町

福井県は今後  
ワイナリーの拡大  
の可能性が最も  
大きい県

### 福井県

**福井県は、将来の食文化の多様性をにらみ、  
全県をワイン特区申請し指定された全国で唯一の県**

福井県 ふくいワイン特区



# 補足資料7 新しいワインツーリズム(高原ワイナリー⇒海際ワイナリー)が人気 今世界で海際ワイナリーが注目を浴びている

## 世界の海際ワイナリー

- ・スペイン 北西部のガリシア州 リアス・バイジャス  
(品種はアルバリーニョ)
- ・アメリカ カリフォルニア エドナ・ヴァレー
- ・フランス ボルドー(西側)
- ・イタリア シチリア
- ・日本 新潟ワインコースト(新潟市)、カーブドッチはじめ  
5軒のワイナリーが集結  
(品種はアルバリーニョ)



## 新しいワインツーリズムの可能性

東京から軽井沢をゲートウェイとして、  
福井まで宿泊を伴うワイナリーツアーが活発化する

シャンパン愛好家・美食家・富裕層が沿線に多く来訪する



## 補足資料8 海際に強いアルバリーニョに注目

- ①スペインを代表する白ブドウ品種
- ②ミネラルを感じる海のワイン
- ③アルバリーニョ(ガリシア語:Albariño)種は、スペインの北西部、大西洋沿いに位置するガリシア地方が原産地と言われている白ブドウ品種
- ④ワインの銘醸地として有名な、スペインのリアス・バイシヤスを代表する品種で、ポルトガルでも多く生産
- ⑤比較的病気に強く、雨量の多いエリアでも育てやすいブドウで、味わいは華やかで魅惑的な香りと豊かな酸が特徴
- ⑥海際で多く栽培されているブドウだということもあり、ミネラルが豊富でバランスの良い、優れた味わいのワインが出来る点でも注目
- ⑦「海のワイン」とも称され、魚介との相性が抜群
- ⑧福井県にとっても相性の良いぶどう品種



アルバリーニョ

# 補足資料9 福井の豊富な魚介に注目



干物に最適  
**ガンゾウビラメ**

身はブリブリとしていて、きれいな白身です。ヒラメ科の中ではヒラメ以外でもっとも大きく、ヒラメと見間違っともあります。旬は寒い時期になります。



赤みの体が特長  
**越前がれい**

アカガレイのことで、福井県で漁獲されるカレイ類の代表格。旬は底曳網漁解禁の9月から翌年4〜5月頃。地元では刺身も楽しめます。



絹のように白い身  
**ウスメバル**

ひと昔前までは大家魚でしたが、近年は高級魚として取引されています。身は絹のように滑らかで白い。脂が適度あって、煮つけは絶上の味わいです。



釣り魚でも人気  
**サクラマス**

川魚のヤマメが海へ下り、大きく成長したものです。2〜5月、定置網漁で獲れます。福井県の定置を巡る丸屋川は、釣り人の聖地です。



温泉朝食の定番  
**エテガレイ**

別名シロガレイ。越前では温泉ガレイとも呼ばれるソウハチのことです。春から夏にかけてが旬です。独特の香りがあり、干物や薫製などで食べられます。



味わい深い干物  
**ウマヅラハギ**

市場では比較的人気の多い魚です。刺身は透明感がいい、甘みがあります。軟にたっぷり蒸らした干物は絶品で、身と合わせて食べるのがお勧めです。



海女の潜水漁  
**サザエ**

潜水漁、舟に乗って箱網を覗きながら獲り、舟で刺して焼く。磯見漁、刺し網漁などで捕れます。春から初夏が旬で、つば焼きや刺身が美味です。



鋭いトゲを持つ  
**カサゴ**

頭にトゲが多く、赤っぽい色をしています。生食数は多く、一年中獲れ、季節によって味もそれほど変わりません。春に産卵を終えて、夏に身が太ります。



希少な珍味  
**越前うに**

日本三大珍味の一つ。海女さんが業務用で獲るバフコニを塩漬けた加工品です。100gの製品を作るのに100個以上のウニが使われます。



春の訪れを告げる  
**サヨリ**

内湾の海面を群れとなって泳いでいる様子は、春を感じます。漁期は4〜5月で、船引き網で漁獲。小浜では、小浜とともにサヨリのさき漬けも作られています。



祝い膳に登場する  
**カナガシラ**

ホウボウによく似ていますが、少々小さく、口先にトゲがあり、背びれに深紅色の斑紋があります。若狭では珍重されており、祝い膳にもよく登場します。



昔ながらの旨い  
**越前えび**

甘えびを狙う網の中に入れられたエビ。鮮度が落ちるが早く、地元だけで食べられていたが船内冷凍で出荷できるようになりました。



身がやわらかい  
**サワラ**

福井では通年定置網で漁獲されますが、特に秋に漁獲量が多くなるのが特長。関西では春先が食べ頃と言われ、関東では「産サワラ」として冬に珍重されます。



身も肝も絶品です  
**カワハギ**

バクチコキやハゲなど地域によって様々な呼び名があります。旬は夏ですが、身が太る秋から冬も美味しく、身はフジ、肝はアンコウに匹敵します。



黄色いタガが目印  
**越前かに**

11月初旬に、冬の訪れを告げるスワイカニ漁が解禁となります。市場では越前かにのみを越前かにと呼びます。水揚げ漁場の名が入った黄色いタガが目印です。



上品でさっぱり  
**マハタ**

暖かい海に生息する高級魚で全長1mにもなる大型魚です。刺身水を綺麗に再利用する仕組みで養殖。多彩な料理で楽しめます。



郷土料理も多い  
**マアジ**

ポピュラーな食用魚で5〜7月が漁獲盛期。また、アジの開きの醤油漬けは若狭の隠れた名産品です。



珍しい国産  
**ふくいサーモン**

福井の低水温環境を活かして養殖されたトラウトサーモン(ニジマス)のこと。2016年には初水揚げがあり、ブランド化を目指しています。



透き通る体で美味  
**ミズガレイ**

和名をムシガレイといい、県内の漁獲量は多くありませんが、美味しい魚です。塩焼きが一般的ですが、一夜干しは上品で、若狭がれいにも負けず人気です。



“お目出鯛”存在  
**マダイ**

春が旬で桜鯛と呼ばれ、中でも早春の頃が最も美味。縁起の良い魚として慶事に欠かせません。敦賀湾などで養殖も盛んです。



寒鯛は冬のご馳走  
**ブリ**

古くから北陸のブリは有名です。日本海に寒風が吹き荒れると、定置網にブリが押し寄せます。冬に水揚げされる寒ブリと呼ばれる天然ブリは絶品です。



しなやかな食感  
**ミスダコ**

タコの仲間では最大種で、体は大きく皮膚がゆるく、マダコに比べてやわらかいのが特長。正月に出る「餅だこ」に使用します。淡白な味わいが魅力です。



古くから蛸壺漁法  
**マダコ**

旬は夏から秋で、夏祭りの頃が最も美味しいと言われています。物陰に隠れるタコの習性を利用した「蛸壺」漁法が一般的で、発生時代から続いています。



祝い魚として珍重  
**ホウボウ**

胸ビレは指のように変化した。器用に海底を歩きます。産卵期の冬から早春までが旬です。若狭では地域によって、お祝いの魚として珍重されています。



釣り人に人気  
**メジロ**

本県ではグレ、ツカヤ、ソカエなど地域によって呼び名が異なります。漁獲量は少ないです。高浜町には、つかやめしと言われる郷土料理があるそうです。



白子は別格扱い  
**マダラ**

日本と異なれば一般的にこのマダラ(真鯛)をいい、鯖などで食される。岩場などに生息している岩のりと呼ばれる。秋から冬にかけて市場に多く出回り、その中でも特に白子は高い値段で取引されます。



3月中旬から旬  
**ホタルイカ**

全国トップクラスの漁獲量を誇る本県。水深200〜300mに生息し、群遊している所を目の細かいついでに捕らえます。ボイルして酢味噌で食べるのが美味しい。



御食國若狭に伝わる  
伝統の保存食です。

若狭地方に伝わる伝統料理「へしこ」。鯖を酢漬けにしたもので、この独特の味は、全国的にも人気が高まっている注目の逸品です。最近では、へしこを使った創作料理もあがります。



岩のりの味噌汁

芳しい磯の香りも、美味しい庶民の味。ゴツゴツとした岩場から採取し、干した岩のりは芳醇な香りが特徴です。味噌汁はもちろんだが、雑煮に入れても美味しく食べられます。また、醤油酒で味付けして弱火で煮詰めて作る佃煮もあります。地元では常備食とされています。

# 補足資料10

東京・大阪の高級鮨店では、シャンパンを置く店が急増

ビール・日本酒に加え、  
新たにシャンパン・ワインを置く  
高級鮨店が増えている



# 補足資料11 シャンパンがクチコミサイトに掲載されている鮭店比率

北陸エリアでは、ほとんど口コミで掲載されていない  
⇒食文化の多様性に対応できていない

北新地、銀座では多く取り上げられている  
ワイン愛好家＝シャンパン愛好家＝美食家＝富裕層

エリア	シャンパンが クチコミに掲載されている鮭店	エリア内 鮭店数	構成比
福井県	1	238	0.4%
石川県	10	484	2.1%
金沢市 (石川県)	8	262	3.1%
富山県	5	372	1.3%
北新地	49	280	17.5%
銀座	73	302	24.2%

出典：食べログのデータより筆者が作成

## (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

### ②(まとめ)北陸新幹線沿線は日本で最大級のワイナリー・ヴィンヤードの集積地 (沿線が活発化)

- ・食文化の多様性
- ・軽井沢をゲートウェイとして、北陸までつなげることによる新しいワイナリーツーリズムの誕生！！
- ・高原ワイナリーと海際ワイナリーをつなげることにより、食材とのマリアージュの楽しみが増える
- ・北陸新幹線沿線に多くの**ワイン愛好家(美食家=シャンパン愛好家=富裕層)**が訪れるようになる



# (1) 東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

## ③北陸新幹線沿線は、日本最大級の温泉集積地・駅名に温泉駅が日本最多3つ（ウエルネス環境）

温泉・サウナツールリズムの活発化

ウエルネスプログラム（ヨガ ストレッチ）、サウナ、マインドフルネス

- ・軽井沢駅⇒千ヶ滝温泉、星野温泉、草津温泉「(車で1時間)、万座温泉(車で1時間半)
- ・上田駅⇒別所温泉、丸子温泉
- ・長野駅⇒戸倉上山田温泉、小布施温泉、
- ・飯山駅⇒飯山温泉、野沢温泉、志賀高原、白馬温泉
- ・上越妙高駅⇒妙高温泉
- ・糸魚川駅⇒糸魚川温泉
- ・**黒部宇奈月駅**⇒宇奈月温泉
- ・富山駅⇒氷見温泉
- ・金沢駅⇒和倉温泉
- ・小松駅⇒山代温泉
- ・**加賀温泉駅**⇒加賀温泉
- ・**芦原温泉駅**⇒芦原温泉
- ・福井駅⇒三国温泉
- ・越前たけふ駅⇒
- ・敦賀駅⇒

沿線に温泉が集積していることは、  
誘客にはプラスになる

ヨガなどのウエルネスプログラムの  
特徴をいかに出せるかがポイント



# 補足資料12 史上空前サウナブームの到来！！

全国に広がるサウナマーケット(東京・北海道から 最近では、大阪・福岡に広がってきた)

## サウナ愛好家(サウナー)の特性

- ①都心のサウナは20歳代が圧倒的に多い
- ②サウナ関係書籍の購買層メインは20歳代
- ③ウエルネス志向が高い(意識が高い)
- ④話題のサウナ施設であれば  
全国どこでも行く

## フィンランドの事例

- ①人口550万人  
300万以上のサウナがある
- ②サウナはビジネス上のコミュニケーションにも利用され、社内にサウナのある企業も多い
- ③外交の手段としてサウナが利用されている
- ④裸の付き合いが立場の違いを超えて人と人との平等なつながりを生み出している
- ⑤サウナ施設で名刺交換



# 日本のサウナ愛好家人口 コロナで激減するも急回復 人気上昇中

全体 1681万人（ヘビー 280万人、ミドル 547万人、ライト 845万人）

頻度 (詳細)		調査年度（調査時期の翌年リリースとした年もございます）						
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ヘビー	月に15回以上	335,607	331,234	241,599	273,886	330,245	206,153	222,139
	月に9～14回程度	1,023,861	1,313,938	1,030,251	980,199	1,070,564	824,756	907,618
	月に4～8回	2,259,094	2,231,793	2,115,955	2,099,386	1,990,306	1,526,605	1,748,919
	ヘビー小計	<b>3,618,562</b>	<b>3,876,966</b>	<b>3,387,804</b>	<b>3,353,471</b>	<b>3,391,115</b>	<b>2,557,514</b>	<b>2,878,676</b>
ミドル	月に3回以下	2,622,476	3,210,086	2,742,581	2,499,785	2,416,852	2,138,038	2,276,158
	月に1回程度	4,085,519	4,492,789	4,017,765	4,163,305	3,510,887	3,075,090	3,202,774
	ミドル小計	<b>6,707,995</b>	<b>7,702,876</b>	<b>6,760,346</b>	<b>6,663,090</b>	<b>5,927,739</b>	<b>5,213,127</b>	<b>5,478,932</b>
ライト	2～3か月に1回程度	5,570,640	5,604,977	5,671,362	5,456,381	4,697,138	2,736,900	3,235,853
	半年に1回程度	6,310,379	5,842,989	6,317,070	6,878,204	6,403,533	2,897,834	2,995,830
	1年に1回程度	6,579,091	5,538,005	5,333,334	5,892,537	5,417,905	2,331,846	2,226,030
	ライト小計	<b>18,460,111</b>	<b>16,985,972</b>	<b>17,321,766</b>	<b>18,227,122</b>	<b>16,518,576</b>	<b>7,966,580</b>	<b>8,457,713</b>
全体合計		<b>28,786,667</b>	<b>28,565,813</b>	<b>27,469,917</b>	<b>28,243,683</b>	<b>25,837,430</b>	<b>15,737,221</b>	<b>16,815,321</b>

各年の総務省統計局人口推計を用いたウェイトバックを行っている。

出典：一般社団法人日本サウナ・温冷浴総合研究所(千葉県船橋市)の「日本のサウナ実態調査2023」

# 補足資料12 サウナの効能が浸透！ サウナは健康維持に効く

## 加藤容崇（かとう・やすたか）氏

慶應義塾大学医学部特任助教・日本サウナ学会代表理事

群馬県富岡市出身。北海道大学医学部医学科を経て、同大学院(病理学分野専攻)で医学博士号取得(テーマは脳腫瘍)。北海道大学医学部特任助教として勤務したのち渡米。ハーバード大学医学部附属病院腫瘍センターにてすい臓癌研究に従事。帰国後、慶應義塾大学医学部腫瘍センターや北斗病院など複数の病院に勤務。専門はすい臓がんを中心にした癌全般と神経変性疾患の病理診断。

また、病理学、生理学にも詳しく、人間が健康で幸せに生きるためには、健康習慣による「予防」が最高の手段だということに気づき、サウナをはじめとする世界中の健康習慣を最新の科学で解析することを第二の専門としている。サウナを科学し発信していく団体「日本サウナ学会」を友人医師、サウナ仲間と作り、代表理事として活動中。「医者が教えるサウナの教科書」(ダイヤモンド社刊)が初めての著書となる。



## 医学的エビデンス

サウナに入る頻度が高いと、以下の3大疾患の出現率が有意に低下

- ・認知症、
- ・心筋梗塞などの心血管病
- ・がん

医者が教える  
**サウナ**  
の教科書

ビジネスエリートはなぜ  
脳と体をサウナでととのえるのか？

パフォーマンスを  
最大化する  
正しいサウナの入り方！

加藤容崇  
慶應義塾大学医学部  
特任助教  
日本サウナ学会  
代表理事

睡眠改善  
集中力・ひらめきアップ  
肩こり・腰痛オフ  
ダイエット・美肌  
免疫力アップ  
心臓病・うつ病・認知症予防

最新  
医学で  
判明!

脳疲労が  
すぐに消える!

ダイヤモンド社

# 補足資料13 森ビルが総力をあげて創り上げた「麻布台ヒルズ」

## コンセプト: GREEN & WELLNESS

予防医療: 慶応義塾大学予防医療センター

ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座の開設



### 麻布台ヒルズ

区域面積	8.1ヘクタール
延べ床面積	861,700㎡
オフィス面積	214,500㎡
住戸数	1,400戸
緑化面積	24,000㎡

### 六本木ヒルズ

区域面積	11,6ヘクタール
延べ床面積	759,100㎡
オフィス面積	190,870㎡
住戸数	840戸
緑化面積	19,000㎡

# 補足資料14 麻布台ヒルズ 周辺地図 (徒歩圏)



# 補足資料15 都心の超高級ホテルには専用サウナ・ジムが標準装備

麻布台ヒルズ内「ジャヌ東京」の事例

アマンは、姉妹ブランド「ジャヌ」初のホテルとなる「ジャヌ東京」を2024年3月に開業する

## 「ジャヌ ウェルネス」

- ・340平方メートルと都内最大級のジム
- ・ボクシングやスピニングバイク
- ・グループエクササイズ用の5つのムーブメントスタジオ
- ・トレーニング、リカバリー、リラクゼーション用施設広々とした
- ・ハイドロセラピー&サーマル
- ・25メートルの温水プールと独立したラウンジプール、
- ・冷温プランジを持つハマム(トルコ発祥のサウナ)
- ・バーニャ(ロシア発祥のサウナ)のプライベートスパハウス
- ・9つのトリートメントルーム、
- ・高気圧セラピー室を備えたリカバリースタジオ

ホテル宿泊者および「ジャヌ東京 ウェルネスコレクティブ」会員のみ利用可能だ。会員は、専用のメンバーズラウンジも利用できる。



# 補足資料16 都心の超高級レジデンスにはサウナ・ジムが標準装備

## 森ビルの事例 HILLS SPA

		ヒルズスパ 仙石山	六本木ヒルズ スパ	元麻布ヒルズ スパ	愛宕グリーン ヒルズスパ	アークヒルズ スパ	虎ノ門ヒルズ スパ
施設概要	プール	20m×3レーン	20m×2レーン	20m×3レーン	16m×3レーン	20m×3レーン	25m×3レーン
	ジャグジー	○	○	○	○	○	○
	スチームサウナ	—	—	○	—	○	—
	ドライサウナ	○	○	—	○	○	○
	ジム	○	○	○	○	○	○



# 補足資料17 日本初開催 ウェルネスの世界的フォーラムが永平寺四季の森で開催された

- ◆会議名：グローバルウェルネスインスティテュート
- ◆主催：福井広域ウェルネス推進協議会
- ◆利用施設：永平寺四季の森旧傘松閣（絵天井広間）
- ◆日時：2023年11月11日（土）

今回福井で日本初開催となったが、これを契機に北陸全体（軽井沢と連携して）にウェルネスの機運をたかめて行く事が重要！



世界的なZEN(禅)の聖地・大本山永平寺、その周辺の四季折々の農産物と温泉。国内では他に無いウエルビーイングなコンテンツに富んだ福井で「ウエルネス業界のダボス会議」といわれるGWIによる特別限定イベントを開催。

GWIのトップリサーチャーであるオフェリア・ヤン氏及びチームによって、日本のウエルネス産業の研究を行い、その発表を本会議で行った。

世界各国で次々と議論がされている、健康・ウエルネスに関する政策についての討論会を福井の首長に呼びかけ、ウエルネス政策についての第一人者でもあるオフェリア・ヤン氏とともにディスカッションを重ねた。

## (主な登壇内容)

- ・福井県⇒県全体のウエルネスの取り組み
- ・永平寺の老師⇒精神的なウエルネスの重要性
- ・あわら市⇒温泉の活用
- ・坂井市⇒食の重要性、竹田の森や日本海側でくりひろげるウエルネス・アクティビティ
- ・永平寺町⇒発酵文化やウエルネス・コミュニティ相互交流
- ・株式会社 MPandC⇒スポーツとウエルネス
- ・エステ株式会社⇒地域の森の枝葉(スギ・ヒノキ・もみの木など)から抽出したエッセンシャルオイルを開発、ウエルネス的展開

※当日は福井のスギ・ヒノキから抽出したエッセンシャルオイルに、禅のイメージで白檀の香りをブレンド、永平寺四季の森のウエルネスな香りを演出(会場でデフューザーから噴霧)



クリアフォレスト®

# 補足資料19 グローバルウェルネスデイ

## グローバルウェルネスデイ



2024年6月8日(土) 全国で開催

北陸全体でウェルネスを盛り上げて行く良いきっかけとなる

毎年6月の第2土曜日に開催される世界的ウェルネス・ソーシャルイベント「Global Wellness Day」

1年に1度開催されるこの特別な1日は、健康に熱心なボランティアによって支えられるソーシャルムーブメント。個人や企業としてチャリティイベントを開催する。

## 一般社団法人国際ウェルネス推進協会

グローバルウェルネスデイという世界規模のソーシャルイベントをきっかけに、2017年に沖縄県で創設。

社会全体を「イキイキと輝く人生を目指す状態」へと導き、その文化が育まれる場として、毎年6月第2土曜日にグローバルウェルネスデイを主催。

ヨガや運動イベントをはじめ、身近にある日本独自のウェルネス文化を世界中へ発信している。

また、ウェルネスの正しい知識を伝える場としてウェルネス検定を実施している。

北陸全体(軽井沢と連携して)で、ウェルネスを盛り上げるとても良いチャンス



Yoshiko

2014年マスター・スタダカーのヨガと出会い学びを深め2017年からヨガの指導を開始。現在は藤沢市内のセラヨガ、公園ヨガ、スタジオMOZEのクラスを担当。ヨガで体も心も痛みのない毎日をサポートします。

## 補足資料20 グローバルウエルネスインスティテュート

### ① ウエルネスとウエルビーングの違いとは

ウエルネスは環境や場。ウエルビーングはアクティビティー。

### ② グローバルウエルネスサミットとは？

コンセプトアジア代表 相馬順子 (Conceptasia KK Yoriko Soma )がボードメンバー。

ウエルネス・ヘルスケア業界最大の国際会議。

選ばれた人しか出席できないため、ウエルネス業界のダボス会議と言われている。

### ③ グローバルウエルネスインスティテュートとは？

グローバル・ウエルネス・サミットを支えるシンクタンク。現在48以上の部門に分かれており、それぞれが独自の研究をする傍ら、ウエルネス経済のデータ、毎年のトレンド を発行。BBCの放送チェック機関でもある。

### ④ なぜグローバルウエルネスインスティテュートが福井で開催されたのか？

(経緯) 坂井市の市観光事業に携わる方たちからグローバル・ウエルネス・サミットの誘致を 打診されていた。今回グローバルウエルネスインスティテュートからトップリサーチャー、オフェリア・ヤンおよび世界最大の医療機関であるクリーブランドクリニックのウエルネス部門のトップ、マイケル・ロイゼン医師をお招きしてのラウンドテーブルの開催を福井でおこなうこととなった。

### ⑤ グローバルウエルネスインスティテュートが福井で開催された大きな意義

J-Wellness は2019年以降、世界的なトレンドとなっている。日本のウエルネス市場は世界第三位、大きく注目を集めているなかで、シリコンバレーなどで絶大な人気 を誇る永平寺を有する福井県で開催することで、GWS 内でも大きな注目を集めている。

⇒ 今後は北陸全体(軽井沢と連携して)で盛り上げていく戦略が重要

## (1) 東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

- ③ **(まとめ)** 北陸新幹線沿線は、日本最大級の温泉集積地・駅名に温泉駅が日本最多3つ（ウエルネス環境）  
温泉・サウナツールリズムの活発化  
ウエルネスプログラム（ヨガ ストレッチ）、サウナ、マインドフルネス

- ・北陸新幹線沿線は、日本で最大級の温泉の集積地(ウエルネス環境)
- ・都心部ではウエルネスを全面に出した複合施設が続々オープン
- ・企業はウエルネス分野に進出
- ・今日本は、史上空前のサウナブーム
- ・北陸全体で、ウエルネスを盛り上げていくことが重要

# (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

## ④妙高(上越妙高駅)は第二のニセコになる！！

世界的温暖化による雪不足で豪雪は観光コンテンツに！！

シンガポール政府系投資ファンドGICの日本支社代表を務めたケン・チャン氏(56)は、今後数年間で約14億ドル(2080億円)を投じ、米国のアспенやカナダのウィスラーなど高級スキーリゾートに！！

### 妙高高原スキー場 日本で最も豪雪スキー場

妙高杉ノ原  
池ノ平温泉アルペンブリック  
赤倉観光リゾート  
赤倉温泉  
関温泉  
ロッテアライリゾート  
斑尾高原



## 北陸にとって 欧米人誘客の千載一遇のチャンス到来！！

- ・欧米人のスキーヤーが急増
- ・欧米のスキーヤーは圧倒的富裕層
- ・東京から軽井沢をゲートウェイとして白馬・妙高を回遊、北陸で日本海の海の幸を満喫するスキーツアー
- ・食文化の多様性



## (1) 東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力



- ①西武グループは、建築家・坂茂氏と投資運用会社経営・ケン・チャン氏をエグゼクティブアドバイザーに招聘
- ②軽井沢千ヶ滝地区に所有する面積22haの敷地を活用し、複合リゾートを開発する(2029年完成)
- ③ケン・チャン氏は、妙高エリアに4000億を投下し、高級リゾート地を計画中
- ④今後は、東京から軽井沢をゲートウェイとして、妙高まで高級リゾートエリアに

## (1)東京から軽井沢をゲートウェイとした北陸までの北陸新幹線沿線の魅力

### ⑤静かで本物がある北陸

(クワイエットラグジュアリー北陸)

- ・伝統工芸(食を彩る)
- ・伝統文化
- ・歴史的町並み
- ・ウエルネス・マインドフルネス

### ⑥日本海の豊富な海の幸

- ・鮨
- ・カニ

### ⑦立山連峰、白山連峰の水の恵み

- ・美味しい日本酒(中軟水)
- ・富山の深層水(白エビ)
- ・山と海の距離が近いので川は急流で水がきれい  
※ヨーロッパの川はゆったりと流れている
- ・独特な地形がもたらす海の恵(魚種が豊富)



## (2) 観光目的が変わった ⇒ 美食・ウエルネス

### 昔は

観光の目的は、観光コンテンツがメイン

例⇒ 永平寺に行きたいから福井に行く  
兼六園に行きたいから金沢に行く  
黒部ダムに行きたいから富山に行く



### 今は

観光の目的は、美食(ガストロノミー)とウエルネスがメイン(富裕層とインバウンドで顕著)

例⇒ 「開花亭」で、美味しい海の幸とワインペアリングを楽しみたいから福井に行く  
「ルジャルダン」で、本格フレンチとワインのペアリングを楽しみたいから福井に行く  
「ヘルジアンウッド」で、ゆっくりサウナに入りたいから富山に行く  
「越前蟹」を食べたいから、福井に行く  
「ヨガなどウエルネスプログラム」があるから、あわら温泉に行く

# 補足資料21 美食を核に据えた「**美食**観光経済圏構想」

「フーディー」が日本を再生する！

# ニッポン 美食 立国論

時代は  
ガストロノミー  
ツーリズム

日本ガストロノミー協会会長  
柏原光太郎 Kotaro  
Kashiwabara

発行：日刊現代 発売：講談社

## 観光目的が激変！

- ・観光名所から美食へ
- ・富裕層美食家(フーディー)の台頭
- ・SNSの完全定着

### 主な購買層

美食家、飲食店関係者、生産者  
観光従事者、地方自治体、地方創生  
ワーケーション関係者

著者

柏原光太郎(かしわばら・こうたろう)

1963年、東京生まれ。

一般社団法人日本ガストロノミー協会会長。

慶應義塾大学卒業後、1986年、株式会社文藝春秋入社。「週刊文春」「文藝春秋」編集部等を経てニュースサイト「文春オンライン」、食の通販「文春マルシェ」を立ち上げる。

『東京いい店うまい店』編集長も務める。

2018年、美食倶楽部「日本ガストロノミー協会」を設立したほか、「OCA TOKYO」ボードメンバー、食ベロググルメ著名人、とやまふるさと大使なども務める。J.S.A認定ワインエキスパート。



## 補足資料22 日本政府観光局(JNTO)「世界22市場を対象とした国外旅行・訪日旅行に関する新たな調査」

外国人の旅行の目的は、

「**美食・ガストロノミー**」が1位



対象市場:韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)、中東地域(GCC6カ国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)、トルコ、イスラエル) 。調査対象:飛行機を利用したレジャー目的の国外旅行経験者。調査機関;2023年1月~3月

### (3) 東京や軽井沢から見る北陸の魅力 (コンセプトワード)

今こそ北陸3県まとめて 北陸を元気にしよう

## *Quiet Luxury* 北陸 クワイエットラグジュアリー 北陸



# The Washington Post

海外メディア  
も注目

東京や京都などと比べ、  
「観光客でごった返していない」ことが評価される

## 福井

米紙「ワシントン・ポスト」 2024年2月2日掲載

「人混みを避けて訪れる旅先世界12の場所」を  
発表、福井を選定

## 富山

英紙「テレグラフ」、2023年

日本で訪れるべき都市として富山を選定

## 【世界のクワイエットラグジュアリー12の場所】

- 1.ブラッチャーノ(イタリア)
- 2.福井県(日本)
- 3.ノースカロライナ州アッシュビル(アメリカ)
- 4.ダルミ(アルバニア)
- 5.ポパヤン(コロンビア)
- 6.オークニー諸島(スコットランド)
- 7.ホルボックス島(メキシコ)
- 8.片岩の村(ポルトガル)
- 9.タイラフィティ・ギズボーン(ニュージーランド)
- 10.テキサス州フレデリックスバーグ(アメリカ)
- 11.トレド地区(ベリーズ)
- 12.スンバ島(インドネシア)

## 補足資料24 フジテレビ「めざましテレビ」 今、人々は「混みを避けて訪れるべき旅先」を求めている



2024年2月14日 放送  
フジテレビ「めざましテレビ」

米「ワシントン・ポスト」が「人混みを避けて2024年に旅すべき場所」としてイタリア、スコットランド、ポルトガルといった世界の穴場12カ所を紹介。

その中で日本から選ばれたのが福井県。「福井は寺院や温泉、越前ガニといったグルメやアートが楽しめる旅行先です」と伝えた。まず寺院の中で勧めているのが永平寺。永平寺は700年以上の歴史がある曹洞宗の大本山。両脇に長い時を物語る巨木が立ち並ぶ苔むす参道や境内には侘び寂びを感じさせる佇まいの多くの建設物が。

永平寺の魅力について福井県在住のカナダ人・ピエールさんは「色んなお坊さんが皆さん口を揃えて言うのが普通のお寺よりも神聖な場所かもしれないということ。その禅の精神・スピリチュアルな精神は色んな福井の文化に直結しているように思える」と話す。

また、温泉も魅力の一つ。例えばあわら温泉には74の源泉があり、泉質が異なるお湯が楽しめるという。さらに去年7月にリニューアルした福井県立恐竜博物館も見所の一つ。高さ13mの恐竜モニュメントや実物大の恐竜が動き回る巨大スクリーン。

さらに実物の化石など子どもから大人まで楽しめる展示が盛りだくさん。その福井には来月北陸新幹線が敦賀まで延伸。東京からの移動時間は3時間を切ることになる。また、福井を旅行する際に補助率50%上限1人1泊あたり2万円の代金を割り引く北陸応援割がこの春を念頭に実施予定。

# 補足資料25 今、人々は「混みを避けて訪れるべき旅先」を求めている 米「ワシントン・ポスト」の記事が日本のメディアに幅広く取り上げられる ⇒クワイエットラグジュアリーが注目されている

**YAHOO! ニュース JAPAN** IDでもっと便利に新規取得  
ログイン LINEとつないで毎日5% ※上限あり

キーワードを入力 | Q マイページ 購入履歴

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング 有料

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域 トピックス一覧

## 世界「旅すべき場所」に今度は福井県 米紙「最もスピリチュアル」

2/2(金) 14:06 配信 18 毎日新聞

米紙ワシントン・ポストは、世界各地から「人混みを避けて、2024年に旅すべき場所」として12カ所を選んだ特集の中で、福井県を紹介した。米紙ニューヨーク・タイムズが山口市を推奨したのに続き、日本の地方への関心の高まりをうかがわせた。

【写真まとめ】スピリチュアル? 「福井のラピュタ」ツアー

壮麗な建築物が並ぶ境内=福井県永平寺町の永平寺で2019年5月15日11時9分、大森治幸撮影

ワシントン・ポストは「日本の最もスピリチュアルな地域の一つを見るため、福井に行こう。3月に（北陸）新幹線の新路線（金沢―敦賀延伸）が開業予定で、東京から約3時間で行けるようになる」と紹介。東京拠点の旅行業者のおすすめとして、曹洞宗の大本山・永平寺を挙げた。

特集記事は、パリやローマ、東京は観光客で混雑すると指摘。「プレッシャーから解放され、息をつける場所」として、ローマ近郊のブラッチャーノ、アルバニア南部デルミ、

### アクセスランキング（国際）

- 中国のインドネシア高速鉄道、代償は「赤字の到来」 資源産業に触手も  
産経新聞 2/14(水) 17:55
- ウクライナ ロシアの大型揚陸艦「撃沈」  
FNNプライムオンライン（フジテレビ系） 2/14(水) 20:46
- アポロ月面着陸のねつ造説 「40万人が関わっているが、誰からも認める話はない」 専門家が解説  
ニッポン放送 2/14(水) 19:40
- ウクライナを獲りにいき予想外の反発を受けたロシア フィンランド大統領選で対露強硬派が勝利  
ニッポン放送 2/14(水) 17:40
- オランダ元首相夫妻「ともに安楽死」…70年連れ添った末、手を取り合って旅立つ  
ハンギョレ新聞 2/14(水) 7:24

### 雑誌アクセスランキング（国際）

- 傷ついて「帰国」したハイマース2台、ロシアにやられた初めての

**YAHOO! ニュース JAPAN**

MAINICHI

# 新毎日

# 補足資料26 クワイエットラグジュアリーとは 定義

最近のファッション業界のトレンドワードで、その文字通り「静かな」「主張しない」ラグジュアリーの事。

## クワイエット ラグジュアリーはファッション業界のトレンドワード

いつの時代も超富裕層に好まれるもので、彼らのワードローブの基本は「コード化されたラグジュアリー」である。一目見てブランド品だと分かる騒がしいロゴプリントや、デザイナーの名前が大きく入ったものは不要であり、他の人に自慢をしたり、見せびらかす必要もない。一見どこのブランドか大衆の人々が見ても気が付かないが、あくまでも「分かる人には分かれば、それでいい。」というスタンスがそれだ。過度な装飾はなく、ミニマルなデザインだが、確かな品格が感じられるそんなルックである。

それは超富裕層の彼らが、ブランド名やロゴに紛らわされることなく、本当のクオリティやオーセンティシティーを理解しているからこそ、自信を持ってそれを選び、身につけることが出来る品格や威厳の現れである。

「動」から「静」へ（クワイエットラグジュアリーの視点で地域を見ると）

京都や軽井沢は、観光客が多く訪れ、交通や宿泊など完全オーバーツーリズム状態といえる。

例えば、

京都に対し北陸、

東京や軽井沢に対し北陸

というように動から静を見ると、静の魅力が際立つ。

**北陸は、クワイエットラグジュアリーに最もふさわしい場所といえる**

## (4)結論

北陸を応援しよう

北陸新幹線**美食**観光経済圏は、  
**無限**の可能性がある

高原ワイナリーから海際ワイナリーへ  
ワインツーリズムが活発化

ご清聴ありがとうございました